

令和6年度 地産地消部会 活動報告

●個別施策1 農業体験等を通じた食と農の理解促進

①農業体験や生産者との交流による食への感謝と農業への理解促進

J A青年部等の協力により学童農園事業を実施し、田植えや稲刈りなど体験を通して、児童の食への感謝と農業への理解促進に向けた支援をしました。

また、ふるさとくるめ農業まつりにおいて、農業・農産物の情報発信、地産地消推進店の出店等を行うとともに、市場まつりにおいても地産地消推進店が出店し、食と農への理解促進に努めました。



(市内小学校での学童農園事業)



(農業まつりでの地産地消推進店の出店)

②農業・農村の持つ多面的機能の理解促進

市立中央図書館において、農業関連企画コーナーの設置に合わせて農業・農村の多面的機能を紹介したパネルの展示を行い、市民への啓発を行いました。

また、ふるさとくるめ農業まつりでは、農業・農村の多面的機能のパネルの展示や、多面的機能を活かした洪水被害軽減対策である田んぼダムについて、その効果を比較する模型を使った実演やPR動画の上映等を行い、周知及び理解促進に努めました。



(図書館での展示)



(農業まつりでの多面的機能PR)

●個別施策2 地産地消の推進

①久留米産農産物を購入しやすい環境整備

市内直売所やスーパー、マルシェ等での地場産農産物販売コーナーの表示を強化するため、PR資材やPR動画を放映できるモニター等を設置しました。

また、地産地消推進店のPRチラシを作成し、広報くるめ(8月号)に折り込み、全戸に周知するとともに、公共施設等にも配布してPRを行いました。



(博多駅マルシェでのPR資材の使用)



(地産地消推進店PRチラシ)

②地産地消の意識啓発

市庁舎1階ロビーで、食育月間(6月)や野菜の日(8月31日)にあわせて、地産地消動画の放映やリーフレットの設置を行い、市庁舎を訪れる人へ周知を図りました。

また、久留米市食生活改善推進員協議会と連携し、久留米産農産物を使ったメニューを作って料理講習会を開催しました。メニューについては、「クックパッド」にも掲載し、地産地消の意識向上に繋がりました。



(市庁舎1階ロビー食育月間の啓発展示)



(食生活改善推進員協議会と連携した料理講習会)